

英語科

第1学年

育成を目指す資質・能力【「基礎・基本」の力】【思考力・表現力・対応力】【高い志とチャレンジ精神】

単
元
名

Let's Listen 1 (Unit 7 Foreign Artist in Japan, New Horizon)

1 日時

令和5年10月11日（水）第4校時

2 学年・学級

第1学年A組（男子13名，女子10名 計23名）

3 場所

1年A組教室

4 単元名（教科書名）

Let's Listen 1 (Unit 7 Foreign Artist in Japan, New Horizon)

5 内容のまとめ

聞くこと イ・話すこと [発表] イ

6 単元設定の理由について

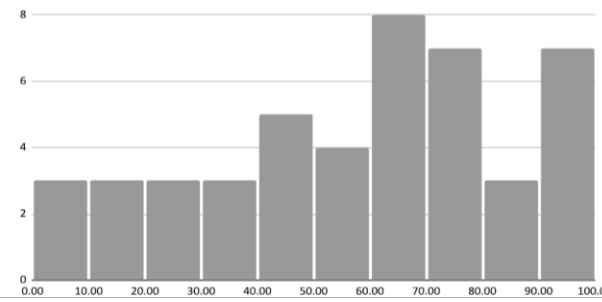
(1) 単元観

Unit 7 は、海斗とメグが日本の伝統文化や伝統工芸に取り組む外国人を紹介する場面と、メグがダイアン吉日さんを通じて落語に興味を持ち、皆で講演に行く場面が教材である。普段触れることのない日本の伝統芸能について理解を深めるよい機会としたい。言語材料としては、代名詞の目的格と所有格，Which ...?. Whose ...? を含む文が扱われている。この Unit 7 までのまとめとして位置づけられているのが Let's Listen 1 である。本題材を通し，中学校指導要領「話すこと [発表]」の「イ 日常的な話題について，事実や自分の考え，気持ちなどを整理し，簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。」ことを単元タスクとし，他の領域の目標とも関連付け，複数の領域に関わる統合的な言語活動を行う。ここでは ALT の家族に関する紹介を聞いて基本情報を理解し，その理解をもとに因島のおすすめの場所を紹介する文を書く活動を行う。

(2) 生徒観

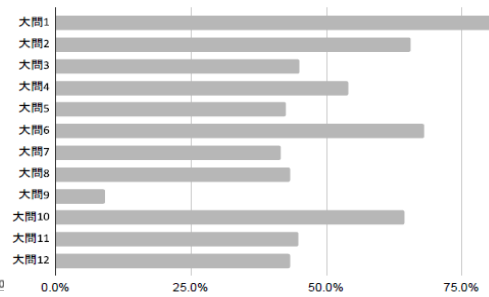
本学年の生徒は1学期に実施した標準学力調査では全国平均を上回り，大変良好な状況であるとの結果が出ている。しかしながら個で見たときには習熟度の開きが大きいという課題がある。

1学期期末試験



グラフ 1

1学期期末 大問別正答率

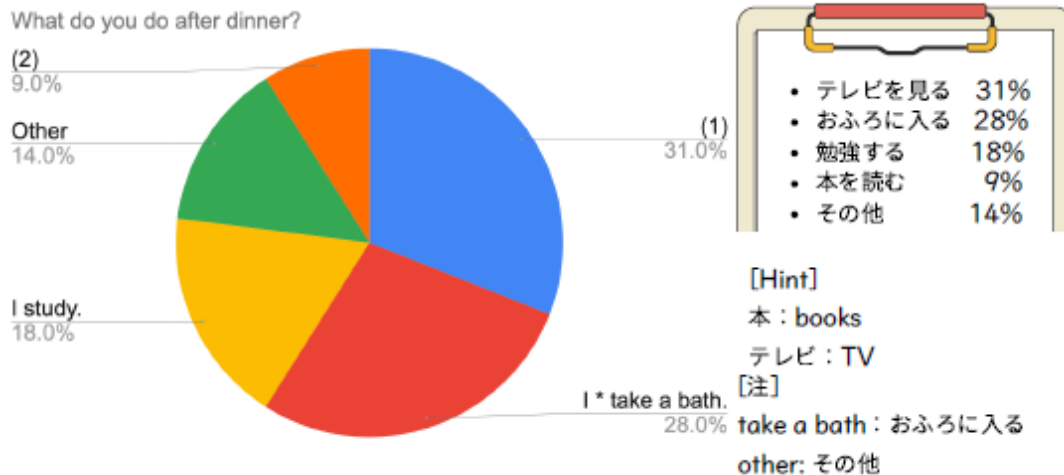


グラフ 2

グラフ 1 は 1 学期期末試験の得点のヒストグラムである。ここからは 0～30 点の範囲に属する生徒が 9 名いる一方で 70～100 点の範囲に属する生徒が 17 名いることが分かる。このことから十分な知識・技能の習得に至っていない生徒がいることがうかがえる。

また本単元では、聞くことと書くことの 2 技能統合型の活動を統合した活動を行う。グラフ 2 は 1 学期期末試験の大問別正答率である。聞くことにおいては大問 1 において会話を聞いて内容に合う絵を選ぶ問題を、会話を聞いてチャイムに合う応答を選ぶ問題を出題した。大問 1 の平均正答率は 80.6%，大問 2 は 65.6%であったことから、聞いたことをもとに思考・判断することに課題があることが分かる。また言語の産出においては、大問 8 と大問 9 で以下のような問題を出題した。

8. 夕食後にすることについて、アンケートをグラフにまとめてクラスで発表することになりました。アンケートの集計結果を参考にしながら (1) と (2) に合う英文をそれぞれ書き、グラフを完成させましょう。(思・判・表 2×2=4)



9. 学級新聞の記事を書くために、ケーキの購入についてアンケートをとることになりました。

(1) (2) の語句をそれぞれ文にし、アンケートを完成させましょう。(思・判・表 2×2=4)

Question

Q1 Do you *buy cakes by yourself? Yes (Go to Q2 and Q2) No

Q2 (1) often buy cake At *cake shops At *convenience stores *Other

Q3 (2) your favorite cake My favorite cake is _____ .

[注]

buy：買う cake shop：ケーキ屋 convenience store：コンビニ
other：その他

大問 8 の正答率が 43.3%，大問 9 の平均正答率が 9.2%であった。ゆえに聞くことと比べてみたときに産出の面はまだ技能の習得に至っていない現状がある。

(3) 指導観

① 知識・技能

「知識」の指導については、最初に有名なキャラクターを紹介するパターンプラクティスや **Which do you want~?**を用いて誰になりきっているかを当てる活動を通して十分に音声に慣れ親しませる。その後、言語材料を用いて文を書く活動に取り組みさせる。「音声から文字へ」という流れを守って指導にあたる。この「知識」を「技能」として活用するために穴あき音読や並び替え音読、翻訳音読などさまざまな音読活動を通して、言語材料の使い方について気づきを促すようにする。

記録に残す評価を行うペーパーテストでは、文脈や具体的な使用場面がある問題を作成し、代名詞の使用の正確さを評価する。指導に生かす評価はペーパーテストに至るまでの言語活動において行う。その際、代名詞に関してはきまりを理解せず、誤った格を使ってしまうというつまずきが想定される。文脈の中で適切な代名詞に変える問題を繰り返し行い、それを音読する活動に繰り返し取り組ませる。また疑問詞 **which, whose** に関しては他の疑問詞と同様、語順でのつまずきが想定される。**Kahoot** を活用し、並び替えの問題に繰り返し取り組みせ、定着を図りたい。

② 思考・判断・表現

本単元では、ある話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことができるようにすることを目標にしている。本単元における「まとまりのある内容を話す」とは、自分の住んでいる地域に関する事実を表す文と自分の考えや気持ち、その理由などを表す文の順序や相互の関連に注意を払い、話題に一貫性のある内容を話すことを意味している。この目標への到達に向けて、段階的に自分の考え、気持ちを書くことやまとまりのある内容を話すことの指導を行う。記録に残す評価を行うパフォーマンステストでは、ALTの友人から届いた「尾道について知りたい」という内容のビデオメッセージを聞き、返事をビデオで送る」という課題を設定し、生徒が話題を聞き取り取り、相手のニーズに応じた返信を話す場面を設定する。指導に生かす評価は、主に言語活動で行う。その際、次のようなつまずきが想定される。

○文になっていない

Suignu-jyo castle. It good.

○事実の羅列

We have Suigun-jyo castle. We have Suigun Festival. We have Shoaido.

○自分の考えや気持ちを具体的に述べていない

I like sushi very much. My favorite restaurant is ○○sushi.

○話題に一貫性がない

We have Suigun-jyo castle. We have many good restaurants. I like okonomiyaki.

これらのつまずきに対して、主に次のような手立てを講じる。各手立ての具体については、単元計画及び本時案に示す。

○「だれが」「～する」「だれ・なに」という意味順の枠を活用し、草稿を書く場面を設定する。

はてな	だれが	する(です)	だれ・なに	どこ	いつ
	あちらは That	です(=) is	海斗 Kaito.		
ですか Do	あなたは you	知っている know	彼を him (=_____)?		
	あちらは That	です(=) is	メグ Meg.		
ですか Do	あなたは you	知っている know	彼を her (=_____)?		

○聞き手に具体的に伝える必要があることは何かという視点で、より読み手に分かりやすい内容とするためのフィードバックを行う。

○共同編集が可能なアプリケーションを活用し、息詰まった生徒及びグループが他の生徒のライティングを参考にできるようにする。

③ 主体的に学習に取り組む態度

単元の始めに、単元の目標と単元の評価規準を共有し、目標達成のために言語活動に取り組むことを伝え、学習の見通しをもたせる。指導に生かす評価は、言語活動の中で目的や場面、状況等を意識して試行錯誤しながら書いている姿や、他者からのアドバイス等を参考にしながら自分の学習状況を振り返ったり、改善したりしている姿を行動観察により見取る。その際、評価規準に照らして、生徒の学習状況がどの点でよいのか、どの点に課題があるのか、次にどのように学習に取り組めばよいのかについて生徒との対話を通して指導する。記録に残す評価は、言語活動の後に、評価規準やチェックリストと照らし合わせながら、できたとやできなかったこととその理由を振り返りシートに記入させ、その記述内容とこれまでの行動観察の状況を併せて評価する。

7 単元の目標

ALT の友人が何を求めているかを理解するために、その人の興味があることについて、必要な情報を聞き取ることができる。

ALT の友人におすすめの場所を紹介するために、自分の住んでいる町に関する事実や自分の考え気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。

8 単元の評価規準

領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	[知識] 人を紹介する表現の意味や働きを理解している。 [技能] 人を紹介する表現の意味や働きの理解をもとに、ALT の家族についての具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。	ALT の友人が何を求めているかを理解するために、その人の興味があることについて、必要な情報を聞き取ることができる。	ALT の友人が何を求めているかを理解するために、その人の興味があることについて、必要な情報を聞き取ろうとしている

話すこと [発表]	[知識] Unit 7 までの学習事項 (言語材料) の形・意味を理解している。 [技能] Unit 7 までの学習事項 (言語材料) の理解をもとに、自分の住んでいる町のおすすめの場所についてまとまりのある内容を話す技能を身につけている。	ALT の友人の求めていることに対する理解のもとに、自分の住んでいる町について知ってもらうために、自分の住んでいる町に関する事実や自分の考え気持ちなどを整理し、これまでに学習した語句や文を用いてまとまりのある内容を話している。	ALT の友人の求めていることに対する理解のもとに、自分の住んでいる町について知ってもらうために、自分の住んでいる町に関する事実や自分の考え気持ちなどを整理し、これまでに学習した語句や文を用いてまとまりのある内容を話している。
--------------	---	---	---

9 具体的な課題と採点の基準等

以下は「思考・判断・表現」の観点の評価するペーパーテストの問題である。

具体的な課題	ALTの友人から届いたビデオメッセージを聞き、自分の住んでいる街について知ってもらうために、ビデオレターを送ろう。 Hi, everyone! I'm ○○. I am interested in traditional Japanese culture. I want to visit famous things and see traditional Japanese building . I also like eating things. In UK, Japanese food is very popular. I like sushi, and I want to try many other kinds of food in Japan. Please tell me about your favorite Japanese food. See you all very soon. Best wishes,
採点の基準	a: 相手の知りたい情報 (おすすめのレストランや有名な場所) について触れ、自分の考えや気持ちを加えて話している。 b: 相手の知りたい情報 (おすすめのレストランや有名な場所) について話しているが、自分の考えや気持ちが含まれていない。 c: 内容が不適切で評価不能
「おおむね満足できる状況」と判断する生徒の記述例	ALTの友人が「日本文化に興味がある」という情報に対して We have Suigun-jyo castle. You can learn the history of Innoshima. We have Senkoji temple. You can see beautiful scenery there. ALTの友人が「食べるのが好き」という情報に対して We have Shoaido. You can try Hassaku daifuku. We have Inoko. You can eat Innoshima style okonomiyaki.

10 単元の指導と評価の計画 (全8時間)

Round	時間	Routine Activity	■各時間の目標 ・主な言語活動等	○指導に生かす評価 ◎記録に残す評価 () 評価方法 「努力を要する」と判断した生徒への手立て	つきたい資質能力
0	1	・聞きトレ ・Quick Response ・Papaya ・Karuta ・Kahoot ・チャンツ	■人称代名詞の目的格の意味や用法について理解するとともに、有名なキャラクターを紹介する文を話す。 ・人称代名詞の目的格についての説明を受ける。 ・人称代名詞の目的格を含む Do you know him / her?を Unit 6 で実施した memory game の中で使用することで表現に慣れ親しませる。 ・ワークシートに示された絵の状況を、人称代名詞の目的格を使った文で書く。 例 A: That's Sato Yuji. Do you know him?	○知識・技能 (ワークシート)	「基礎・基本」の力

			B: Yes, I do. She's a rakugo performer, right?		
	2		<p>■疑問詞 Which の意味や用法について理解するとともに、どちらが欲しいかたずねあうことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疑問詞 Which についての説明を受ける。 ・教科書 p.71 の Mini Activity を行い、表現に慣れ親しませる。 ・ワークシートに示された絵の状況を、疑問詞 Which を使った文で書く。 <p>例 A: Which do you speak at home, Filipino or English?</p> <p>B: I speak Filipino.</p>	○知識・技能（ワークシート）	「基礎・基本」の力
	3		<p>■疑問詞 Whose の意味や用法について理解するとともに、だれのものかを尋ね合うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疑問詞 Whose についての説明を受ける。 ・スライドを見て、だれのものかをたずねそれに答える活動に取り組み、表現に慣れ親しませる。 ・ワークシートに示された絵の状況を、疑問詞 Whose を使った文で書く。 	○知識・技能（ワークシート）	「基礎・基本」の力
1・2	4		<p>■繰り返し英文を聞き、音声のみのインプットから話の概要・要点を掴む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書のピクチャーカードをストーリー順に並べ替えていく等の活動を行い、物語の「状況」や「主なできごと」を把握する。 ・本文の内容に関する Q&A に答える。 ・本文が順不同に並んでいるワークシートを用い、本文の音声聞いて文章を並べ替える。 	○知識・技能（ワークシート）	「基礎・基本」の力
3・4	5		<p>■ラウンド1・2で大まかな内容理解をした教科書本文を音読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音読（リピーティング・バズリーディング） 	○知識・技能（授業観察）	「基礎・基本」の力

			<ul style="list-style-type: none"> ・穴あき音読 ・並び替え音読 ・翻訳音読 		
5	6		<p>■教科書の表現を活用し、日本で活躍している外国人アーティストを紹介する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎思考力・判断力・表現力 ◎主体的に学習に取り組む態度 	<ul style="list-style-type: none"> 思考力・表現力・対応力
	7		<p>■相手や自分の体調をたずねたり説明して利する場面をスキットで演じる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎思考力・判断力・表現力 ◎主体的に学習に取り組む態度 	<ul style="list-style-type: none"> 思考力・表現力・対応力
	8 本時		<p>■ALTの友人におすすめのレストランについて知ってもらうために、自分のお住んでいる地域に関する事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、返信のメールを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビデオメッセージを聞き、相手が必要としている情報を把握する。 ・ペアでおすすめのレストランをやりとりする。 ・Padletにメールの返信を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎思考力・判断力・表現力 ◎主体的に学習に取り組む態度 	<ul style="list-style-type: none"> 思考力・表現力・対応力
	後日	音読テスト パフォーマンステスト		<ul style="list-style-type: none"> ◎知識・技能 ◎思考力・判断力・表現力 	

1 1 本単元において育成しようとする資質能力について

- ・思考力・表現力・対応力・高い志とチャレンジ精神

1 2 本時の展開

(1) 本時の目標

ALTの友人からのビデオメッセージの概要を聞きとり、返信のビデオメッセージを撮影することができる。

(2) 本時の評価規準

領域	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	ALT の友人が何を求めているかを理解するために、その人の興味があることについて、必要な情報を聞き取ることができる。	ALT の友人が何を求めているかを理解するために、その人の興味があることについて、必要な情報を聞き取ろうとしている
話すこと [発表表]	ALT の友人の求めていることに対する理解のもとに、自分の住んでいる町について知ってもらうために、自分の住んでいる町に関する事実や自分の考え気持ちなどを整理し、これまでに学習した語句や文を用いてまとまりのある内容を話している。	ALT の友人の求めていることに対する理解のもとに、自分の住んでいる町について知ってもらうために、自分の住んでいる町に関する事実や自分の考え気持ちなどを整理し、これまでに学習した語句や文を用いてまとまりのある内容を話している。

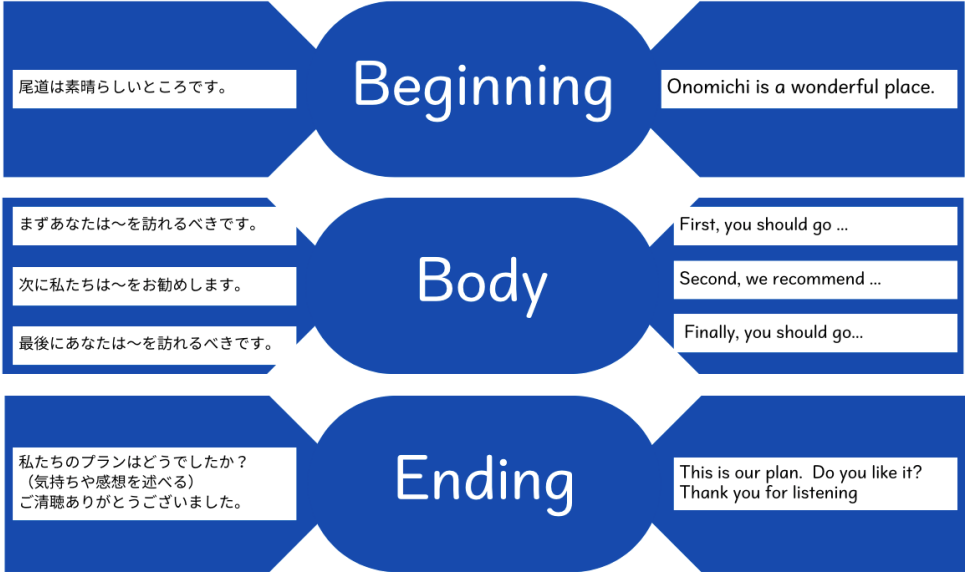
(3) 本時の準備物

電子黒板・PC・タブレット・教科書・ワークシート

(4) 本時の学習過程

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準 [観点]	★資質・能力 (評価方法)
1 帯活動 (5分)			
1. Greeting 2. Quick Response	◇ 気持ちの良い授業始まりになるように元気よく声を出させる。 ◇ 既習の単語を復習する。		
2 Step 1 Introduction (5分)			
1. 活動の導入を行う	◇ALT の依頼ビデオを見た上で、今回の活動の目的を整理する。 ◇ワークシートを活用し、友人の要望を整理する。		
<p>Listen, everyone. Next month, my friend will come to Onomichi. He'll stay Onomichi for two weeks. So I want you to plan a tour. Now, Ill tell you his information</p> <p>(写真を見せながら) His name is ○○. He lives in the UK. He wants to try Japanese food but he doesn't like raw fish. His favorite Japanese food is udon. He wants to eat many kinds of Japanese foods.</p> <p>Please tell me your favorite Japanese food and introduce your recommended restaurant.</p>			
2. Today's Goal および Mission を提示し、本時の授業に見通しを持つ。			
<p>Today's Goal :Tom 先生の友だちにピッタリの観光プランを提案することができる。</p>			
<p>Mission : We are tourism ambassadors!!</p>			
3 Step 2 Planning (10分)			
1. Model Speech	◇ シンキングツールを参照しながら、モデルスピーチを聞くよう指導す		

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">Atomic Bomb Dome</div> <ul style="list-style-type: none"> • symbol of peace • many tourist 	<p>る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">Itukushima Shrine</div> <ul style="list-style-type: none"> • beautiful Torii in the sea 		
Hiroshima			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">Syouhuku</div> <ul style="list-style-type: none"> • sea food restaurant • delicious <u>oyster</u> riceball <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">a speciality of Hiroshima</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">Orizuru Tower</div> <ul style="list-style-type: none"> • see a beautiful scenery • original drink 		
<p>[Model Speech]</p> <p>Hiroshima is a wonderful place to visit. I would like to talk about our plan.</p> <p>First, you should go to Atomic Bomb Dome. It's a symbol of peace. Many tourists visit there.</p> <p>Second, you should go to Itsukushima Shrine. You can see the beautiful Torii in the sea.</p> <p>Third, for lunch, we recommend Syouhuku. It's sea food restaurant. You can eat delicious oyster rice balls. Oyster is a specialty of Hiroshima.</p> <p>Lastly, you should go to Orizuru tower. You can see a beautiful scenery. You can also enjoy a special drink there.</p> <p>This is our plan. Do you like it? Thank you for listening</p>			
<p>2. シンキングツールへの記入（グループ）</p>	<p>◇ この時点では文ではなくキーワードを英語で箇条書きするよう指示する。</p> <p>◇ 日本特有の文化や食品に関してはどんなものか説明をするよう指示する。</p>		
<p>4 Step 3 Writing (15分)</p>			
<p>1. 原稿の構成を確認する。</p>	<p>◇ 原稿が3つの構成で作成されていることを確認する。</p>	<p>思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度 (ライティ</p>	<p>★思考力・表現力・対応力（ライティングした生徒の作文・</p>

 <p>Beginning 尾道は素晴らしいところです。 Onomichi is a wonderful place.</p> <p>Body まずあなたは〜を訪れるべきです。 First, you should go ... 次に私たちは〜をお勧めします。 Second, we recommend ... 最後にあなたは〜を訪れるべきです。 Finally, you should go...</p> <p>Ending 私たちのプランはどうでしたか？ (気持ちや感想を述べる) ご清聴ありがとうございました。 This is our plan. Do you like it? Thank you for listening</p>	<p>ングした生徒の作文・授業観察)</p> <p>◆意味順の枠に原稿を書き込む。 ◆Model Speech の表現を一部変えて表現するよう指導する。 ◇尾道の観光地について、ALT の友だちが理解できるよう詳しい説明を入れるよう指示する。 ◆他の生徒の原稿を参考にさせる。</p>	<p>授業観察)</p>
<p>4 Step 3 Practice (10分)</p>		
<p>1. 班ごとに撮影に向けた練習を行う。 2. 撮影を行う。</p>	<p>◆Google の音声読み上げ機能を活用し、手本を繰り返し聞いて練習するよう指導する。</p>	
<p>4 Consolidation (5分)</p>		
<p>1. 発表を行う 2. 振り返りを行う。</p>	<p>[振り返りの例] ALT の友人に尾道のおすすめの場所を紹介することができた。 班のメンバーで協力して教え合いながら原稿を書くことができた。 尾道の観光地について詳しく説明することができた。</p>	

(5)板書計画

Monday, October eleventh

めあて

ミッション

Tom 先生の友だちにピッタリの観光プランを提案することができる。

We are tourism ambassadors!
尾道の観光地を詳しく伝えよう

Quick Response
Introduction
Writing
Practice
振り返り

Atomic Bomb Dome
・ symbol of peace
・ many tourist

Syouhuku
・ sea food restaurant
・ delicious oyster riceball
↓
・ a speciality of Hiroshima

Hiroshima

Orizuru Tower
・ see a beautiful scenery
・ original drink

